



1953-1959

# 神戸市中学サッカー大会準優勝、 神戸高校に初勝利。



昭和33年11月

## 6年間の記憶の断片

“I left my heart in Sanfrancisco.”

一時代前のこのヒット曲を時おり耳にする度に、私は30年近く東京周辺に居住しているにも拘わらず、あの眩しかった神戸の陽光と六甲学院を取り巻くたたずまいを思い出します。16期のサッカー部の6年間の記憶の断片をつづりますと、

・神戸市中学サッカー大会で準優勝（上野中に0-1で惜敗）したこと。ボールより相手の足を蹴り合う総力戦に備えストッキングの下に竹べら製の保護具を巻いていた者もいたこと。

・高校時代の多くの試合の会場になった神戸高校の食堂の15円のうどんがとりわけうまかったこと。

・高2の時、当時県で常勝を誇っていた神戸高校を遂に破り、六甲サッカー部の歴史に特筆すべき実績を残せたこと。

・若手バリバリの佃先生の練習でのしごきに「こんちきしょう」と向かっていったこと。

・（タヌキこと）友方先生はもとより、マルチン、ドミンゲス、ヒルケル、等の外人の諸先生が、殊更サッカー部を支援してくれたこと。

・我々が「おっさん」と呼んでいた2期先輩の伊藤裕さんは、大変口喧し

く何時も説教をくらいましたが、今となってはその熱意に尊敬こそすれ、良き思い出です。

・メンバーを紹介しますと、CFキャプテンの佐々木武の人望力、RW今野の職人芸のボレーキック、LW渡辺の前へ前へのねばりっこさ、井上・小林の六甲精神そのものの運動量、三島のエレガントな球捌き、門脇の猛烈なスライディングタックル、元川の悠揚迫らぬ人柄通りのサッカー、FB土居・土田の一発形勢逆転の超高校級の？大蹴り、キーパー柴田の華麗なる横っ飛びのキャッチング、怪我の為プレーではスタメンではなかったが、最後までやり通した中井の精神力等々…。



16期生卒業写真。

あの頃の伯母山のグラウンドをめぐる情景は、50才を既に過ぎた16期のメンバーにとってはるか彼方のはずが、却って先達てのこのように思われるこの頃です。

[土田 忠良]



昭和30年10月、神戸市中学サッカー大会準優勝（上野中に0-1で惜敗）。於、本山中